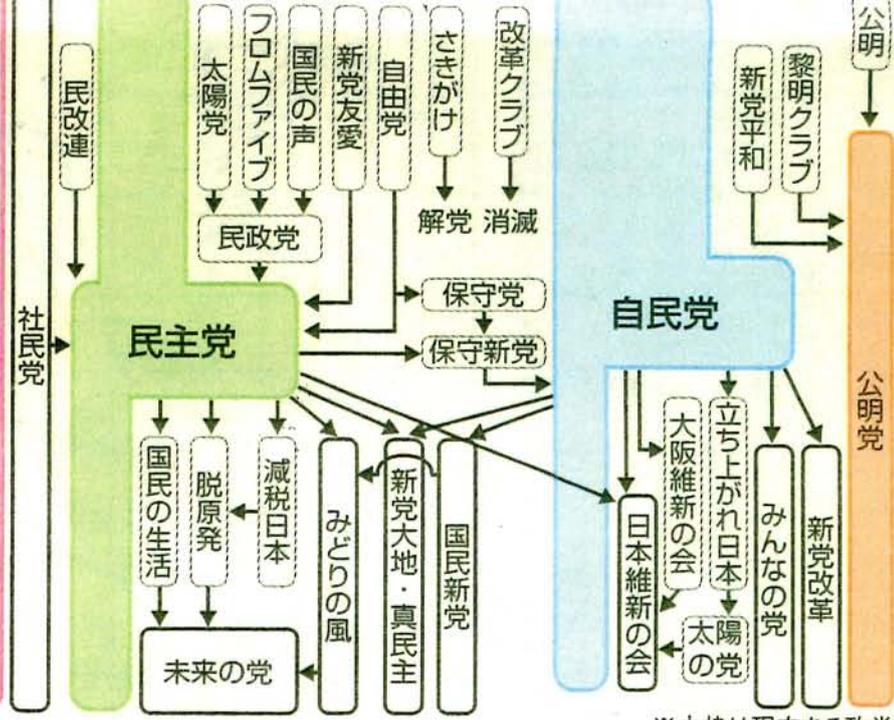


# 日本共産党は創立から九十一年の歴史 草の根の力・大震災の救援に力発揮

## 民主・自民は分裂・離党のくり返し



## 政党助成金頼み 離合集散の実態

- ❶ 寒い毎日がつづいています。風邪やノロウイルスに気をつけて、うがいと手洗いにはこまめに、ていねいに心がけて。
- ❷ さて、政党がでけたり、壊れたり、この大事な選挙が終わったあとには、どうなるのでしょう。
- ❸ 北区議会の中にも、あるんです。離合集散の会派は…。

憲法の象徴を  
守りましょ

日本共産党北区議会議員  
**さがらとしこ**  
区政レポート  
2012.12.7.No.1104.

ご相談はお気軽に  
TEL とも **3905-0970**  
FAX とも

さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団  
区役所内 3908-7144  
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>

2012.11.30付「しんぶん赤旗」より

**証言**

### 政党らしい政党は日本共産党だけ

日本には共産党などを除くと政党らしい政党は事実上ない。政党には党員がいて、党員たちの願いをかなえるための政策があり、その政策を実現するために候補者を選定して当選させる。議会でそうした候補者が多数派を形成して権力を握り、政策を実現させていく。(片山善博慶応義塾大教授、元総務相、『中央公論』9月号)

### 「自前で組織」は共産党

「自前で組織を」と政党助成金を拒否している共産党はまさにそういう組織論を主張している。(島田敏男NHK解説委員、NHK「日曜討論」7月15日)

### 敵ながらあっぱれ

日本(の政党)で地方組織をしっかりとし、どこへいってもそれなりのレベルの地方議員をもっているのはそう多くない。共産党というのは、そこは敵ながらあっぱれで、それなりのレベルの地方議員を持っている。(谷垣禎一前自民党総裁、8月31日の会合で)

### 17年間で5555億の政党助成金を山分け

自民	2540億円
民主	1629億円
公明	414億円
社民	335億円
その他	635億円

日本共産党は受け取らず、廃止を主張

●東日本大震災では、この全国ネットワークの力で物資の供給やボランティアの派遣など、救援活動に力を発揮しました。「原発なくせ」の運動でも、1970年代から横暴

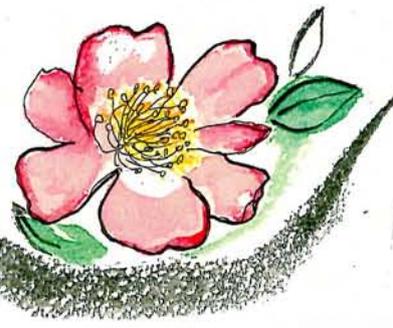
な原発建設とたたかい、福島事故後も全国各地で党派を超えて力を合わせて活動し、国民の過半数が「原発ゼロ」を願う変化を作り出してきました。

●財政も、憲法違反の政党助成金も企業・団体献金も受け取らず、国民に依拠して自前でまかっています。これも政党助成金や企業・団体献金頼みの各党とは違います。だからこそ、財界・大企業にもきっぱりとものが言えます。

●政党助成金の総額は17年間で約5500億円(年間320億円)。各政党が分け取りしました。日本共産党が受け取りを拒否し返上してきた分は350億円以上に達します。

●いっせいで地方選から、1年8ヵ月となりましたが、北区議会では民主あか社民が同会派3人の新人が当選した。みんなの党は2つに分裂。選挙後が注目されています。

●今週号は、政党のあり方について、「しんぶん赤旗」の記事を紹介し、

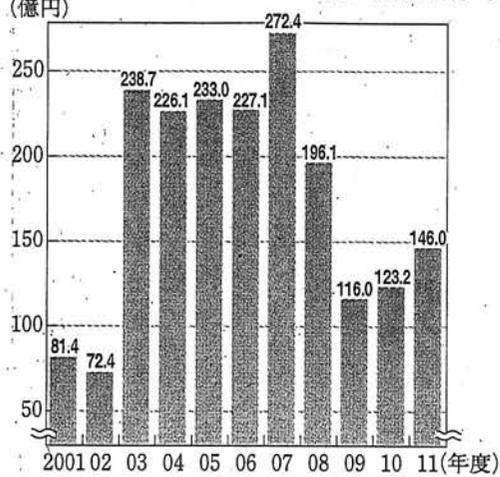


# サービス残業は正1932億円

## 11年間総額 共産党と労働者の力で

「サービス残業」は、行動する「日本共産党」の力が発揮されています。この不払い残業を根絶する「提案」のためのたたかいで、「提案」の力が発揮されています。企業から労働者に支払われたサービス残業代は正145億9957万円、支払いを受けた労働者数は11万7002人。

サービス残業代は正額の年度別推移 (厚生労働省調べ)



注1) 01年度は01年4月～02年9月、02年度は02年10月～03年3月  
注2) 金額は100万円以下は四捨五入しています

企業から労働者に支払われたサービス残業代は正145億9957万円、支払いを受けた労働者数は11万7002人です。2011年度だけでも、是正額は145億9957万円、前年度より22億5700万円増えています。このなかには、トヨタなど製造業や都市銀行、電力会社などの大企業が多数含まれています。

2011年度だけ正額は145億9957万円  
支払いを受けた労働者数は11万7002人

証言

### 改革ビジョンへの反響

#### 王道を走っている

「(社会保障充実と財政危機打開の提言を) 経営者は必読する必要がある。つまらない駆け引きや己のためのたたかいをせず、『王道』を走っているのは共産党だけではないでしょうか。(日本商工連盟大阪地区代表世話人・小池俊二さん、本紙インタビュー、3月23日付)

#### 異彩を放つ動き

「民主党も自民党も『領土問題は存在しない』の一点張り…結局はなすすべなく手をこまぬいているだけである。それに引き換え、この間、異彩を放ったのは共産党の志位和夫委員長の動きである」。「民主党と自民党が遠吠(ぼ)えしている間、共産党は(中国大使に申し入れ)外交交渉に乗り出した形だ」(早野透桜美林大学教授、元朝日新聞コラムニスト、朝日新聞デジタル「新ポリティカにっぽん」10月3日号)。

### 300回を超える国会質問 2001年には、厚労省も通達

日本共産党は、1976年以来、300回を超える国会質問でサービス残業が企業犯罪だと追及してきました。

12月8日(土) 1時半～3時

都区政と桐丘建替えについて

「語る会」が開かれ

会場: 桐丘西地区集会所

※区議さからとしこがご報告して頂戴

### 結党は小沢氏から働きかけ

日本未来の党の嘉田由紀子滋賀県知事は29日、フジテレビ「とくダネ!」に出演し、新党結成は「国民の生活が第一」の小沢一郎代表からの働きかけによるものであり、小沢代表と結党前に3回会談していたことを明らかにした。

### 「未来」の嘉田氏

嘉田氏は、結党のきっかけについて「知事会では増(拓也)岩手県知事(生活所属)と親しいので、9月末にアプローチがありました」と述べ、同党の政策が「生活」を基本とし、3回目は24日だったと話しました。

たと話しました。

嘉田氏は同日午前の記者会見で、「国民の生活が第一の政策は私も全体として合意しておりました。そこにプラス、例えば、『卒園』であるとか、女性、子どものところを強化する」と述べ、同党の政策が「生活」を基本としたものであることを話しました。